

平成 25 年 8 月 26 日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

**「T&D中国中小型株ファンド(愛称:ゴールドドラゴン)」**

**2013年8月26日決算の分配金について**

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社が運用しております「T&D中国中小型株ファンド(愛称:ゴールドドラゴン)」(以下、「当ファンド」といいます。)につきまして、2013年8月26日決算の分配金を下記の通りご案内申し上げます。

今後ともお引き立てを賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

敬具

■ **第5期分配金** (1万口当たり、税引前)

ファンド名	分配金
T&D中国中小型株ファンド	1,100円

■ **分配の実施について**

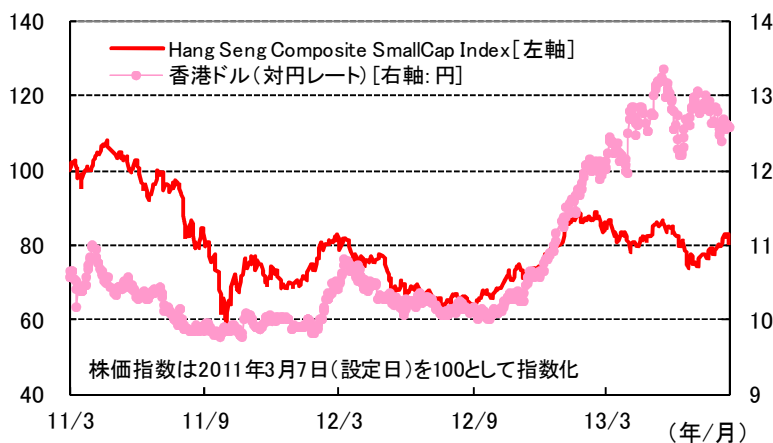
当期において、ファンドが実質的な主要投資対象とする中国中小型株は下落傾向にあったものの、香港ドルについては対円で概ね上昇を続けました。これらのことから、現在の基準価額水準や市況動向等を勘案し、2013年8月26日の分配金を1,100円(1万口当たり、税引前)とさせていただきます。

※ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

※ 分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※ 詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」の「分配方針」をお読みください。

○ **中国小型株指数および香港ドル(対円レート)の推移**



期間:2011年3月7日(設定日)  
~2013年8月23日(日次)  
出所:Bloombergより  
T&Dアセットマネジメントが作成

**■ 当期の運用経過 (2013年2月25日～2013年8月26日)**

海外の市場については基準価額への影響を考慮し、前営業日基準としています。

**【市場概況】**

香港株式市場は、不動産価格抑制に向けた一連の動きや、周人民銀行総裁によるインフレ警戒発言などを背景に下落基調で始まりました。4月下旬から、5月中旬にかけて、欧米の金融緩和の継続期待などから上昇基調に転じましたが、その後、米国で早期の量的緩和縮小観測が広がったこと、予想を下回る中国経済指標の発表、上海銀行間取引金利(SHIBOR)の急上昇による中国金融システムの不安の台頭などから、6月下旬にかけて、大幅に下落する展開となりました。6月下旬から、期末にかけては中国の短期金融市場の落ち着きや米国の量的金融緩和の早期縮小観測の後退などを背景に反発基調の展開となりました。

そのような環境のなか、当期を通じてみると中小型株は大型株を上回る動きとなりました。

当期主要株価指数は、香港ハンセン指数が-4.4%下落、ハンセン中国企業株指数(H株指数)が-12.2%下落、Hang Seng Composite SmallCap Indexが-4.6%下落しました。香港ドルは対円で上昇しました。期初12.13円で始まった香港ドル/円は期末にかけて12.73円まで上昇する展開となりました。

**【運用概況】**

当期の基準価額騰落率は、主にマザーファンドの保有株式の値上がりにより、16.7%となりました。株式の実質組入比率は概ね85%～95%程度で推移させました。

銘柄選択にあたっては、主に中国の内需拡大、可処分所得増大により恩恵を受け、中長期的に高い成長が見込める中小型株を選定し、ポートフォリオを構築しました。7月末時点でのマザーファンドにおける株式の組入銘柄数は32銘柄、組入比率は87.6%としました。組入比率上位の業種は、ソフトウェア・サービス(14.3%)、テクノロジー・ハードウェアおよび機器(13.9%)、資本財(11.2%)、半導体・半導体製造装置(10.8%)、エネルギー(10.0%)となりました。個別銘柄では、主にコンピューターソフトウェアメーカーのKINGSOFT CORP、KINGDEE INTERNATIONAL SOFTWARE、太陽光電池用シリコン関連製品(インゴット、ウェハー)を製造するCOMTEC SOLAR SYSTEMS GROUP等がポートフォリオの収益にプラス寄与し、参照指数である、Hang Seng Composite SmallCap Index(円換算)を上回りました。

**【今後の運用方針】**

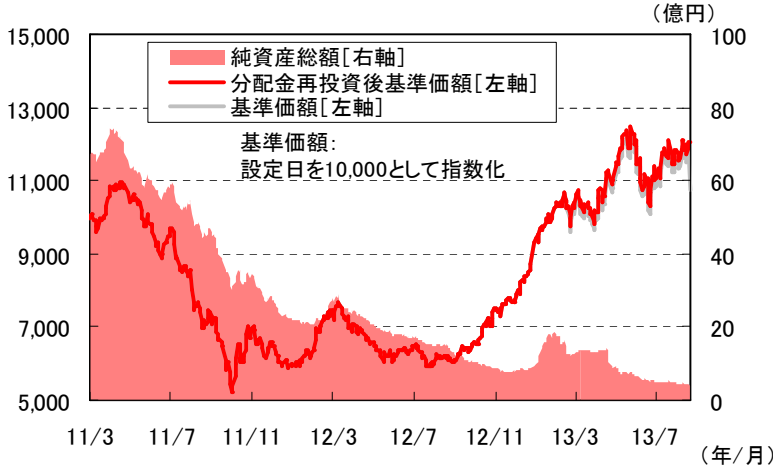
中国人民銀行が金利自由化に向けた措置の一環として貸出金利の下限を撤廃することを発表しており、今後も中国政府は、経済構造改革を押し進めていくとみえています。また、李克強首相は2013年の中国の経済成長率について7.5%目標、最低ラインを7.0%と発言しており、この実現に向けての景気刺激策が期待されます。香港市場は当面全体の株価バリュエーションが大きく上昇しにくい状況にありますが、政策の恩恵を受け、持続的な成長が期待される銘柄が物色されるなど、個別色の強い展開を想定しています。このため、銘柄選別に一層注力する方針です。

銘柄選択においては、個別企業ごとの業績動向および政策動向を注視しつつ、中国の中小型株の中から、利益成長の確度が高い銘柄を重視し、選別強化を図る方針です。

出所: 国泰君安アセット(アジア)より入手したコメントをもとに作成しています。

■ **基準価額の推移** (設定日(2011年3月7日)~2013年8月26日)

※ 基準価額の推移は税引前分配金を全額再投資したものと計算しているため、実際の受益者利回りは異なります。基準価額は信託報酬控除後です。



**[直近5期の分配実績]**

	決算日	分配金
第1期	2011/8/25	0円
第2期	2012/2/27	0円
第3期	2012/8/27	0円
第4期	2013/2/25	200円
第5期	2013/8/26	1,100円
設定来		1,300円

※1万口当たり、税引前

**2013/8/26**

基準価額	10,717円
純資産総額	4.0億円

■ **分配方針**

年2回、毎決算時に、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ② 分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。
- ③ 収益分配に充てず、信託財産に留保した利益については、運用の基本方針にしたがって運用を行います。

※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

■ **販売会社の名称等**

販売会社	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
宇都宮証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第32号	○			
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1977号	○			
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第75号	○			
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第8号	○			

※加入協会に○印を記載しています。

以上

当資料は投資者にT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

## 当ファンドのお申込みに際してのご留意事項

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

### ◎ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクについて

「株価変動リスク」「為替変動リスク」「カントリーリスク」「流動性リスク」

※ 基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

## ファンドの費用

### ■投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 <b>3.15%(税抜 3.0%)</b> 以内で販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.3%</b> の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。

### ■投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	毎日、ファンドの純資産総額に年 <b>1.9215%(税抜 1.83%)</b> の率を乗じて得た額とします。
その他の 費用・手数料	<p>【監査費用】 毎日、ファンドの純資産総額に年 <b>0.00735%(税抜 0.007%)</b>の率を乗じて得た額とし、ファンドでご負担いただきます。</p> <p>【その他】 証券取引に伴う手数料、組入資産の保管等に要する費用等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。</p>

※上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。